

「プロジェクトマネージャー」紹介

Q プロジェクトマネージャーというのは、どのようなお仕事をされるのですか。

A はい、プロジェクトマネージャーの役割は、新しく会社を作ってビジネスを始める新規創業や、新商品開発への取り組み、そして地域密着型ビジネスの創出といった新しいビジネスへの取り組みをプロジェクトとしてとらえ、これらの活動が円滑に進むようマネジメントをする、つまり助言や指導をすることです。

Q 具体的には、どのようなアドバイスや指導をされるのですか

A はい、まず第1は事業計画書を作成するお手伝いをします。新しい事業に取り組もうとする時には、自分がやろうとしていること、関係する人の流れ、モノの流れ、お金の流れなどをキッチリ整理する必要があります。企業は人・モノ・金と言われますからね。しかも、それは紙に書いて整理する必要があります。頭の中で分かっているけど、紙に書いてみると無理や矛盾が見えてくることが多いからです。

事業は、この事業計画書に基づいて進めていくことが必要なのですが、初めて取り組む方にとっては、なかなか難しいものなのです。

プロジェクトマネージャーは、一緒になって整理をし、方向性を考えながら、計画書の作成を支援します。

そして2番目の役目は、その事業が円滑に進むようサポートをすることです。

Q なるほど、創業者にとっては強い味方ということですね。

では、これから創業を目指している方に、アドバイスをお願いしたいのですが。

A う～ん、強い味方でありたいと願っていますが、

はい、それはそうとして、創業を目指しておられる方には、「失敗を恐れるな」と申し上げたいと思います。

失敗をしないことにこしたことはありませんが、失敗をしてしまっても、後片付けの仕方によって、評価を大きく変えることができます。多くの人に迷惑をかけたままでは、再び事業に挑戦することが難しくなります。被害が最小限ですむよう、予め撤退時期や撤退方法を、よく考え、シミュレーションをしておくことが大切です。次に繋がる失敗は、やがて日本でも評価される日が来ると思いますので、しっかりと準備をした上で、ドンドン挑戦していただきたいと思います。

Q なるほど、創業の時は、どうしても行け行けドンドンになりがちですが、冷静に考えておかななくてはならないということですね。重みのある言葉だと思います。ところで、既に事業をされておられる方には、どのようなアドバイスを送られますか。

A はい、「変えることを恐れるな」と申し上げたいと思います。

Q 今度は、「変えることを恐れるな」、ですか？

A はい、言い方を変えると、「儲からん、儲からん、と、言いながら、なぜ今日も同じことを繰り返すのですか」と申し上げたいのです。

Q なるほど、そう言われてみると、分かったような気になりますが。

A ええ、でも変えることは誰でも怖いのです。そして苦しいことです。スポーツ選手もフォームの改造は大英断が必要です。

Q そうですよ、いつもやっていることを変えるって、大変なことですよ。

A ええ、でも、同じことを続けていても駄目だ、と分かったら、変えなくてはなりません。

最近では仕事量が減った建設業の方が、まったく方向の違うお米作りに乗り出し売上を上げている例や、一日中工場に入って鉄を削っていた社長さんが、「もう工場には入らない」と宣言し経営に徹したことで、企業の方向性が明確になり、お客様から信頼を得て業績が好転した例もあります。その社長さんは、「毎日鉄を削っているほうが慣れた仕事なので楽だったが、しんどいけど変えてよかった」と言われています。

また、新しい設備を入れると同時に、最新設備に対応した設計体制に変え成功した例や、逆に、新しい設備は入れたものの旧態依然とした体制を変えなかったために失敗した例も沢山あります。

Q なるほど、そういう時も渡邊さんに相談すればいいのですか？

A ご遠慮なくご相談下さい。当財団では、私以外にもスタッフを配置して、皆様のご相談に対応しております。

Q なるほど、事業計画の重要性、創業される方には失敗を恐れるな、既に創業されている方には変えることを恐れるな、ですね。

A 最後になりますが、えひめ産業振興財団では、創業や経営に関する相談を、平日の8：30から17：30まで受け付けております。ご遠慮なくドンドンご利用下さい。お待ちしております。